

編集後記

今回の巻頭言では東京工業大学教授の広瀬壮一先生に執筆していただきました。『社会インフラの点検・診断を考える』と題して、社会インフラの点検・診断の重要性や現状における課題について指摘され、今後の点検が高度化されれば、医学の進歩が人々の長寿をもたらしたように、損傷の早期発見が可能となり、安価な補修費用で長期間にわたって安心して利用できるとの貴重なご意見をいただきました。廣瀬先生にはお忙しい中、快く引き受けていただき、誠に有難うございました。誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本号の表紙には、橋梁、建築鉄骨、及び環境事業での代表的な写真を掲載しました。橋梁では絶滅危惧される植物に配慮して架設を行った長谷橋や環境ではこれまで施工できなかった箇所においても再生可能エネルギー発電ができるケーブル式太陽光発電システムの開発など環境に配慮した活動について紹介しております。本文におきましては、建築鉄骨において開発いたしました製品紹介、橋梁の維持管理に着目いたしました研究報告および橋梁・環境事業の工事報告を紹介しております。これからもそれぞれの分野で皆様に必要とされる研究・開発を継続的に行い、事業を通じて社会のお役に立てるように努力する所存です。

最後に執筆者をはじめ多くの方々のご協力をいただき無事に発刊することができました。編集員一同、誌面をお借りしてお礼申し上げます。

(橋 肇)

駒井ハルテック技報 作成関係委員 (50音順)

技術委員会	委員 長：富本 信	副委員長：江頭 慶三				
	顧問：竹中 裕文					
	委員：板垣 定範	落合 教道	小林 光博	高橋 順一	橋 肇	
	細田 直久	丸山 忠明	三輪 浩二	村上 佳市		
	事務局：本間 順					
編集WG	WG 長：橋 肇	副WG長：板垣 定範				
	幹事：江頭 慶三	落合 教道	小林 光博	細田 直久		
	委員：東 博年	安達 昭宏	大石 誠	岡田 靖夫	小川 博基	
	重田 光則	高 良人	高尾 智	塚狭 研治	中本 啓介	
	三輪 浩二	村上 健二	森川 友記			

駒井ハルテック技報 Vol.7 2017

発行：2017年12月

発行所：株式会社駒井ハルテック

〒110-8547 東京都台東区上野一丁目19番10号

<http://www.komaihaltec.co.jp/>

印刷：株式会社シップス

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台404番1号

<http://www.cips-k.com/>

©株式会社駒井ハルテック (禁無断転載)